

| | |
|--|--|
| 助成受給団体名 | ふりがな とくていひえいりかつどうほうじんふようどにせんひやく 特定非営利活動法人ふよう士2100 |
| 事業の名称 | じゃんがら念仏踊り継承事業 |
| 実施期間 | 平成25年8月1日～同25年10月31日 |
| <p>実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)</p> <p>いわき市には「じゃんがら念仏踊り」という伝統芸能があります。鉦、太鼓を打ち鳴らしながら新盆を迎えた家などを供養して回る踊り念仏の一種であり、市内では単に「じゃんがら」と呼ばれ親しまれています。そこで当団体は、地域に根付いた伝統芸能継承のために、8月と9月に「子供じゃんがら念仏踊りセミナー」を2日間にわたって開催。普段触れることのない伝統芸能の道具を直接触り、実際に体験・演奏する機会を創出し、子供たちに「じゃんがら念仏踊り」の素晴らしさを伝えた。その際に踊りや歴史など知識のレクチャーなども取り入れました。伝統芸能「じゃんがら念仏踊り」を通して、地域の連携を深め、子供たちが安心して暮らせるまちづくりに寄与した。今回の助成事業で購入したじゃんがら用太鼓と鉦はセミナーの中でも子供たちが使用し、実際に体験演奏を経験。また、太鼓や鉦が足りなくて活動に困っていた団体に無料で貸出するだけでなく、いわき市内の子供会やクラブに貸与し、いわき市内の様々な地域活動の場面で利用されています。</p> | |
| <p>事業の成果(200字以上400字以内に収めてください。)</p> <p>東日本大震災以前から夏の時期、いわき市では当たり前のように聞こえてくる「じゃんがら念仏踊り」。子供たちにとって身近な伝統芸能ではあるのですが、今までは参加したり道具に触れる機会はあまりありませんでした。また、震災直後は生活再建が優先される中、じゃんがら念仏踊りの活動を休止する地域もありました。太鼓や鉦が不足して、活動継続が難しくなった団体に太鼓や鉦を貸与し、伝統文化保存に寄与することができた。さらに復興事業の一環として、昨年引き続き、今回の「子供じゃんがら念仏踊りセミナー」では実際に道具に触れることにより、普段見たり聞いたりしていただけた伝統芸能への興味がさらに大きなものになりました。さらに地域に根付いた伝統芸能について知識を深めたり参加できたことで、将来はそれぞれの地域にあるじゃんがら団体の担い手となる子供も出てくると期待されます。さらに今回セミナーに参加した子供たちが、次世代にじゃんがら念仏踊りの伝統文化を語り継ぎ、技術を伝えることによって、西暦2100年の未来がふるさとを愛する人であふれるようになることが期待されます。</p> | |
| <p>今後の課題</p> <p>それぞれの地域で「じゃんがら念仏踊り」に携わる人だけでなく、だれでも気軽にじゃんがら念仏踊りに参加することができる環境づくりを継続して取り組んでいくことが必要です。さらに幼少のころからいわきの伝統文化である「じゃんがら念仏踊り」を体験し、市民が気軽に語り続けられるような環境づくりが必要です。</p> | |

